

氏名	おおくぼ 大久保	さとし 哲	職名	教授	就任年月	2010年（平成22年）4月
【学歴】	<p>1978年 九州大学法学部卒</p> <p>1980年 九州大学大学院法学研究科民刑事専攻修士課程修了</p> <p>1983年 九州大学大学院法学研究科民刑事専攻博士後期課程単位取得修了</p>					
【取得学位】	法学修士					
【職歴】	<p>九州大学法学部助手</p> <p>筑紫女学園短期大学一般教育科助教授</p> <p>久留米大学法学部教授</p> <p>琉球大学大学院法務研究科（法科大学院）教授</p> <p>神奈川大学大学院法務研究科（法科大学院）教授</p>					
【専門分野】	<p>刑事訴訟法</p> <p>刑法</p> <p>刑事政策</p>					
【研究課題】	<p>刑事弁護</p> <p>死刑制度</p> <p>犯罪加害者・被害者支援</p> <p>刑事人権論</p>					
【学会・社会活動】	<p>日本刑法学会</p> <p>九州法学会（理事）</p> <p>沖縄法政学会</p> <p>日本世間学会</p> <p>宮崎県や諸団体の外部委員及び民間諸団体の役員・構成員等</p>					

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
論 文 (単)	刑事手続に関わるすべての人間の全方位的な人権と尊厳の保障	宮崎産業経営大学 法学論集 第 29 巻第 1・2 号	2022 年
論 文 (単)	日本国憲法と皇室典範 — 西洋近代法思想と日本人の心性の乖離 —	宮崎産業経営大学 研究紀要 第 32 巻第 1・2 号	2022 年
論 文 (単)	刑法と報復の論理	内田博文先生古稀祝賀論文集 『刑事法と歴史的価値とその交錯』	2016 年
研究ノート	私の天皇制	宮崎産業経営大学法学論集 第 24 巻第 1・2 号	2016 年
論 文 (単)	報復権再論	新潟大学法政理論 第 45 巻第 4 号	2013 年
論 文 (単)	犯罪被害者の保護と刑事手続参加	北九州市立大学法制論集 40 巻 4 号	2013 年
論 文 (単)	報復権再考	『立石二六先生古稀祝賀論文集』 成文堂	2010 年
論 文 (単)	刑事系第 2 問 問題と解説 「同意書面における同意の有無」	ロースクール演習第 2 号	2009 年
論 文 (単)	犯罪と刑罰	永尾孝雄編『現代の国家と法律』 創言社	2008 年
論 文 (単)	裁判と自由	永尾孝雄編『現代の国家と法律』 創言社	2008 年
論 文 (単)	捜査と防御	『刑事司法改革と刑事訴訟法 (上)』日本評論社	2007 年
著 書 (共)	現代青林講義 刑事訴訟法 (第 3 版)	青林書院	2006 年
論 文 (単)	当事者主義と刑事弁護	『刑事実体法と手続法 —法 学博士井上正治先生追悼論集』 九大出版会	2003 年
論 文 (単)	最近の求刑・量刑事情	『平成 12 年版日弁連研修叢書 現代法律実務の諸問題』第一法規	2001 年
論 文 (単)	量刑と刑事裁判	『刑事・少年司法の再生梶田 英雄・守屋克彦退官記念論文集』 現代人文社	2000 年
論 文 (単)	求刑・量刑と当事者の武器対等の理念	久留米大学法学 38 号	2000 年
論 文 (単)	弁護士 100 人に聞きました — 当番弁護士の実情と本音 —	季刊刑事弁護 21 号	2000 年